

第 30 回岩手県食の安全安心委員会 次第

日時：令和 5 年 2 月 13 日（月）14 時 00 分～

場所：盛岡市勤労福祉会 5 階 大ホール

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（１） 食の安全安心の確保に係る令和 4 年度の実施状況と令和 5 年度の実施方向について

ア 岩手県食の安全安心推進計画

イ 岩手県食育推進計画

（２） 令和 5 年度岩手県食品衛生監視指導計画（案）について

（３） その他

4 その他

5 閉 会

【配布資料】

議事	資料番号	資料名	頁
—	—	次第	—
—	—	出席者名簿	1
—	—	配席図	3
（１）ア	資料 1	岩手県食の安全安心推進計画の実施状況と次年度の方向性	4
（１）イ	資料 2	岩手県食育推進計画の実施状況と次年度の方向性	23
（２）	資料 3	令和 5 年度岩手県食品衛生監視指導計画（案）	別冊
（３）	資料 4	その他資料	別冊

第30回岩手県食の安全安心委員会出席者名簿

委員

区分	氏名	所属	職	備考
消費者 を代表する者	磯田 朋子	岩手県消費者団体連絡協議会	事務局長	
	小山田 緑	いわて生活協同組合	常務理事	
	菊地 セツ子	岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会	副会長	
	千葉 悦子	岩手県社会福祉協議会・保育協議会	副会長	
	山口 真樹	(一社) 岩手県PTA連合会	副会長	
食品関連事業者 を代表する者	後藤 和彦	株式会社いわちく	専務取締役	
	嵯峨 潤子	岩手県学校栄養士協議会	会長	
	坂下 大輔	岩手県外食産業協議会	副会長	
	佐々木 安彦	岩手県漁業協同組合連合会	指導部長	欠席
	佐藤 圭	(一社) 岩手県食品衛生協会	専務理事兼事務局長	
	高橋 一樹	全国農業協同組合連合会岩手県本部	営農支援部長	
	新沼 辰彦	丸モ盛岡中央青果株式会社	専務取締役	
	梁川 真一	一関まちづくり株式会社	専務取締役	
学識経験者	及川 亜希子	株式会社岩手日報社	広告事業局企画推進部長	欠席
	笹田 怜子	岩手県立大学盛岡短期大学部	講師	
	佐藤 至	岩手大学農学部	教授	
	寺嶋 淳	岩手大学農学部	教授	
	村元 美代	盛岡大学栄養科学部	教授	

16 名出席

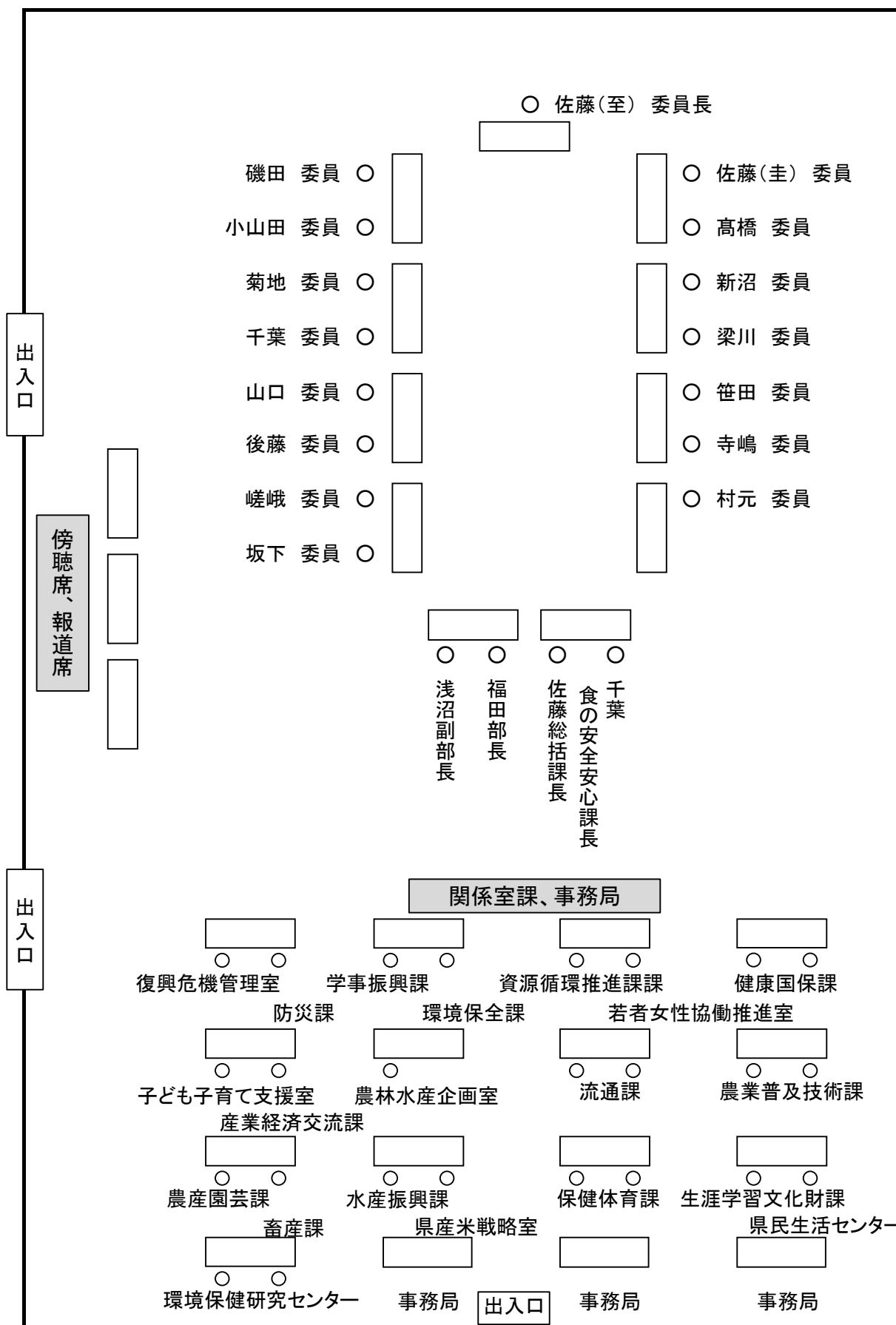
関係室課等

所属	職	氏名	備考
復興防災部復興危機管理室	主任	堀川 勇	
復興防災部防災課	主査	千葉 哲也	
ふるさと振興部学事振興課	主事	柚 はなの	
環境生活部環境保全課	主任主査	八重樫 香	
環境生活部資源循環推進課	主査	沖田 潤一郎	
環境生活部若者女性協働推進室	主査	佐々木 透	
保健福祉部健康国保課	主任主査	小野償子	
	主査	築田 尚美	
保健福祉部子ども子育て支援室	特命参事兼次世代育成課長	佐々木 浩一	
商工労働観光部産業経済交流課	主任主査	高橋 英聖	
農林水産部農林水産企画室	主査	高師 拓也	
農林水産部流通課	主任主査	藤原 桃代	
	主事	久水 しほ	
農林水産部農業普及技術課	上席農業普及員	澁谷 まどか	
	主任	廣田 志紀子	
農林水産部農産園芸課	主任主査	菅野 史拓	
農林水産部畜産課	主査	佐藤 裕夫	
農林水産部水産振興課	技師	阿部 瑛	
農林水産部県産米戦略室	主事	日下 右京	
教育委員会事務局保健体育課	保健体育担当課長	中川 友治	
	指導主事	菅原 史子	
教育委員会事務局生涯学習文化財課	主任社会教育主事	松川 仁紀	
環境保健研究センター	保健科学部長	高橋 知子	
	衛生科学部長	千葉 和久	
県民生活センター	主任主査	稲川 多佳子	

事務局

所属	職	氏名	備考
環境生活部	部長	福田 直	
	副部長	浅沼 秀行	
環境生活部 県民くらしの安全課	総括課長	佐藤 義房	
	食の安全安心課長	千葉 正	
	主任主査	佐藤 直人	
	主査	白藤 裕久	
	主査	白沢 明美	
	主任	小野寺 秀宜	

第30回 食の安全安心委員会 配席図



岩手県食の安全安心推進計画 取組状況と次年度の方針

計画の柱	施策 の数	取組内 容の数	令和 4 年度の実施	令和 5 年度の方針（予定）
I 安全で環境負荷の少ない 食品の生産・製造等の推進	4	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね予定通り実施 ・ 一部は、新型コロナ感染症の影響により方法を変更または実施できず 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほとんどの取組を継続して実施予定 ・ 一部拡充 （取組No.7「HACCPに関する研修会等の開催、HACCP取得への指導助言」など）
II 食品に関する信頼の向上 と県民理解の増進	4	25		
III 監視・指導の強化等による 安全安心を支える体制の 充実	6	35		

I 安全で環境負荷の少ない食品の生産・製造等の推進

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
1 生産段階における食品の安全性の確保への支援	(1) 安全・安心な産地づくりに向けた継続的なGAPの取組・活用の推進	1	農産物の生産段階におけるGAPの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・県及び関係団体のGAP指導者を対象とした研修会を開催予定（3月上旬、盛岡市） ・農業者及び指導者等を対象に、先駆的にGAPに取り組む産地の事例を紹介する研修会を開催予定（3月上旬、盛岡市） ・認証GAP取得を志向する11経営体を対象に現地機関と連携して指導を展開し、4農場が認証を新たに取得した（その他経営体は令和4年度末～令和5年度に認証取得予定）。 ・農業大学校・農業高校におけるGAP教育の実施及び認証取得に向けた取組を支援し、4校がGAP認証を継続した。 	継続 <ul style="list-style-type: none"> ・GAP指導者を対象とした研修会等の開催 ・農業者及びGAP指導者を対象とした優良事例研修の開催 ・JAと連携し、生産部会等、団体での取組推進 ・認証取得意向の農業者からの指導要請に対応 ・農業大学校・農業高校における認証取得に向けた準備及び認証継続のための支援を実施 	農業普及技術課	(主) I-1
		2	畜産物の生産段階におけるGAPの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産GAP指導体制の整備のため、指導員養成研修を開催（2回） ・認証取得意向のある農場等に対し、研修会や農場指導によりGAPの実践を支援。 	継続 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き畜産GAPの指導体制を強化し、認証取得意向のある農場の取組を支援 	畜産課	
	(2) 家畜及び生産物の衛生的管理技術の支援	3	農場HACCPの導入支援	<ul style="list-style-type: none"> ・農場HACCP推進農場の指定を受けている肉用牛1農場において、農場HACCP認証の取得を支援。 ・農場HACCP導入を希望する農場に対し、推進農場指定の取得に向けた準備を支援。 	継続 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き推進農場の指定及び認証農場取得に向けた準備を支援 	畜産課	(参) I-1
		4	高品質生乳出荷の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生乳サンプル9,144件（12月末現在）の検査を実施。 	継続 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き生乳サンプルの検査を継続し、体細胞数低減に向けた取組を支援 	畜産課	(参) I-1

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
1 生産段階における食品の安全性の確保への支援	(2) 家畜及び生産物の衛生的管理技術の支援	5	安全な鶏卵出荷の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・採卵農場48戸の衛生管理の実施状況、自主検査成績等を把握・分析。 ・分析結果を踏まえ、サルモネラ検査は実施せず。 	継続 ・引き続き採卵農場の検査・指導を実施	畜産課	
2 製造・加工、流通段階における食品の安全性の確保への支援	(1) HACCP に沿った衛生管理についての取組の支援	6	食品安全サポーターによる巡回・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・食品安全サポーターによる、事業者に対する食品衛生法改正の周知や、HACCP に沿った衛生管理への移行等現場指導立入施設数（R4年度立入施設数 計画5,000施設、上半期2,415施設） ※新型コロナウイルス感染症の拡大対策の観点から、施設への立入は可能な範囲で実施中 	継続 ・引き続き実施に取り組む	県民くらしの安全課	(主) I - 2 (参) I - 4
		7	HACCPに関する研修会等の開催、HACCP取得への指導助言	<ul style="list-style-type: none"> ・各保健所において、衛生管理計画作成ワークショップを開催した。 ・「HACCPプラン作成セミナー」を開催した（（一社）岩手県食品衛生協会に委託）。 	継続・拡充 大規模事業者向けのセミナーはR4をもって終了とし、R5からはワークショップの対象を届出事業者等へ拡大し、指導を強化することでHACCPの確実な定着を図る	県民くらしの安全課	(主) I - 2 (参) I - 4
3 食の安全安心に関わる人材の育成	(1) 農薬の適正販売、安全使用を推進する農薬管理使用アドバイザーの育成	8	農薬管理使用アドバイザー養成研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬管理使用アドバイザー養成研修を2回開催。 ・産直、卸売市場、集落営農組織の役員、無人航空機のオペレーター等関係者を対象に受講を誘導した。（7～12月） ・特に、産直組織へのアドバイザー配置を進めるため、普及センター等と連携して受講を誘導したり、無人マルチローター（ドローン）の販売店を対象に、新規オペレーターの受講を誘導するなどの取組を行った。 ※農薬管理使用アドバイザー認定目標1,300名維持 	継続 ・農業者（産直組織やドローン所有者）を対象に、養成研修の受講を誘導。 ・ドローン所有者には、ドローン教習所を通じて、養成研修の受講を案内。	農業普及技術課	(主) I - 1 II - 3 (参) I - 3

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方角性（予定）	担当課等	関連指標
3 食の安全安心に関わる人材の育成	（１）農薬の適正販売、安全使用を推進する農薬管理使用アドバイザーの育成	9	農薬管理使用アドバイザーへの研修実施	・ 農薬管理使用アドバイザー更新研修を開催した。（５回）	継続	農業普及技術課	(主) I - 1 II - 3 (参) I - 3
	（２）食品の衛生管理を啓発する食品衛生推進員の育成	10	食品衛生推進員（食品安全サポーター）の委嘱	・ 委嘱者85名の巡回指導等により営業者の自主衛生管理を推進した。	継続	県民くらしの安全課	(主) I - 3 (参) I - 4
		11	食品衛生推進員の資質向上のための講習会の開催	・ 食品衛生指導員の研修を兼ねて、6月に実施した。 ・ 食品衛生推進員（食品安全サポーター）に特化した内容の研修は、新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ中止した。	継続 ・ 新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで開催を検討し、引き続き資質の向上に取り組む	県民くらしの安全課	(主) I - 3 (参) I - 4
	（３）営業施設における食品衛生責任者の養成	12	食品衛生責任者養成講習会の実施（食品衛生管理者も対象に含む）	・ 食品衛生責任者養成講習会を実施。（15回開催、991名を養成。）（12月末時点）	継続 ・ 引き続き食品衛生責任者の養成に取り組む	県民くらしの安全課	(参) I - 4
	（４）食品の適正表示を推進する者の養成	13	食品適正表示推進者養成講習会への講師派遣	事業者を主な対象とした食品表示に係る講習会を（一社）岩手県食品衛生協会の後援を受け実施し、事業者による食品表示の適正化を支援した。（食品関連事業者88名参加）	継続	県民くらしの安全課	
4 環境負荷の少ない産地づくりの推進	（１）環境負荷の少ない農業技術の普及拡大	14	環境負荷の少ない農業を促進する研修会の開催	・ 環境保全型農業セミナーを開催した（1月31日、北上市）。 ・ 適正施肥研修会を開催した（11月11日、18日、22日、北上市、162名）。 ・ 農薬適正販売・使用研修会を開催した（10月12日、北上市、167名）。	継続 ・ 引き続き、環境負荷の少ない農業技術の普及拡大に取り組む。	農業普及技術課	(主) I - 4

Ⅱ 食品に関する信頼の向上と県民理解の増進

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方針性（予定）	担当課等	関連指標
5 食品の適正表示の推進	(1) 食品表示に関する店舗への指導	15	食品表示に関する店舗への指導	・ 県内の事業者店舗について、表示点検を実施。 ・ 加工食品の原料原産地表示の義務化について周知を図った。	継続	県民くらしの安全課	(主)Ⅱ-3
		16	食品衛生法に基づく監視・指導と併せた食品表示制度の普及	・ 監視時において適正な食品表示制度の普及に努めた。	継続	県民くらしの安全課	(主)Ⅱ-3
	(2) 食品表示に関する相談の実施	17	食品表示110番の設置と県民から相談等の対応、指導の実施	・ 食品表示110番の開設 ・ 食品表示専門員1名を配置した。 ・ 食品表示110番受理件数12件。	継続 ・ 引き続き専門員を配置し、適切な対応や指導に努める	県民くらしの安全課	(主)Ⅱ-3
	(3) 食品表示ウォッチャーの委嘱と活動の充実	18	食品表示ウォッチャーの委嘱	・ 令和4年5月26日から令和5年3月31日までの委嘱期間で31名に委嘱。 ・ 報告件数154件。（3回目までの合計。全4回報告。）	継続 ・ 来年度も同人数程度に委嘱し、モニタリングを継続する	県民くらしの安全課	(主)Ⅱ-3
		19	食品表示ウォッチャー研修会の実施	・ 第1回研修会：令和4年7月5日開催 ・ 第2回研修会：令和5年1月16日開催	継続 ・ ウォッチャーの資質向上に取り組む	県民くらしの安全課	(主)Ⅱ-3
	(4) 食品の適正表示を推進する者の養成（再掲）	20	食品適正表示推進者養成講習会への講師派遣	事業者を主な対象とした食品表示に係る講習会を（一社）岩手県食品衛生協会の後援を受け実施し、事業者による食品表示の適正化を支援した。（食品関連事業者88名参加）	継続	県民くらしの安全課	(主)Ⅱ-3

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
5 食品の適正表示の推進	(5) 不当な表示や過大な景品類の提供に対する指導	21	事業者への指導等	・ 外食メニューに関する景品表示法被疑案件 1 件について任意調査を実施。 (R 4.12月末現在)	継続	県民生活センター	
		22	景品表示法に関する消費者教育（出前講座等）	・ 出前講座（随時、講師派遣の要請があった都度実施）等において景品表示法のリーフレットを配布し、周知を図った。 (出前講座実績：38回（参加者1,866人） R4.12月末現在)	継続	県民生活センター	
	(6) 食品の虚偽又は誇大広告に関する指導	23	食品の虚偽又は誇大広告に関する重点監視の実施	・ 痩身・強壮用健康食品及び指定薬物の含有が疑われる物の買上調査を実施した。（5品目） ・ 薬事監視員と食品衛生監視員が連携し、監視指導を実施した。	継続	健康国保課、県民くらしの安全課	(参) II - 1
		24	健康被害に関する県民への注意喚起	・ 「健康食品」による健康被害（又は疑い）が発生した場合は、県民に対する注意喚起を実施する。 (事案なし ※R4.12末現在)	継続	健康国保課、県民くらしの安全課	(参) II - 1
6 食品の信頼向上のための相互理解の増進	(1) 食の安全安心に関するリスクコミュニケーションの実施	25	リスクコミュニケーションの実施	①劇場型リスクコミュニケーション ・ 食品表示講習会 (1/16、120人) ②講座型リスクコミュニケーション（食の安全安心を考える講座、合計132人） ・ 食中毒 (8/22、31人) ・ 輸入食品 (8/22、32人) ・ 食品安全 (9/16、36人) ・ リスコミ講師育成講座 (9/16、16人) ※講座型リスコミとして実施 ・ 牛乳工場オンライン見学 (10/31、17人)	継続 ・ 新型コロナウイルス感染症対策のうえ、劇場型で多くの県民が参加できる機会を確保するとともに、質問や対話がしやすい講座型の開催を継続	県民くらしの安全課	(主) II - 2 (参) II - 2

施策	取組項目	No	取組内容	R4の取組	R5年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
6 食品の信頼向上のための相互理解の増進	(2) 食の安全安心に関する出前講座等の実施	26	出前講座の開催や講師派遣の実施	・ 52回実施、延1,552名受講。 (テーマ：食中毒、食品表示、HACCP等) (令和5年1月25日時点)	継続 ・ 要望テーマに合わせた適切な講師の派遣	県民くらしの安全課	(主) II-3
	(3) 食品に関するトレーサビリティ制度の普及	27	・ 県広報媒体による周知活動 ・ 広報等を活用した普及啓発	・ 制度について、ホームページ等で引き続き周知を図った。 ・ 国と連携し、食品事業者等を対象に、必要に応じて指導を行った。	継続 ・ 制度について、ホームページ等で引き続き周知を図る。 ・ 国と連携し、食品事業者等を対象に、必要に応じて指導を行う。	流通課	(参) II-3
	(4) フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）の推進	28	FCP参加企業の募集とセミナー開催による普及啓発	・ FCP岩手 brunch の加入促進 (ホームページ、メーリングリスト等での周知) 会員数 94社（R4中に加入12社 退会1社を予定）→103社予定（2023/1/11時点） ・ 交流会開催等 令和4年度 FCP岩手 brunch 交流会（2022/11/22）を開催した。	継続 ・ 引き続きFCP岩手 brunch の加入促進に努めるとともに、セミナーの開催や「見える化」シートを活用し、事業者間連携等を図る	産業経済交流課	
7 自主回収報告制度による食品回収情報の適切な提供	(1) 自主回収報告制度の確実な実施及び県民への迅速な情報提供	29	本県事業者の自主回収報告制度による迅速かつ適切な回収と自主回収情報の県民への提供	・ 1/23時点の報告件数25件について、管轄保健所において適切な指導を行ったほか、速やかに国の食品衛生申請等システムに登録し、また、県民くらしの安全課において速やかにホームページに掲載した。 ・ 現に流通している食品の回収において、健康への危険度が最大の「クラス1」であった場合、SNSを活用して速やかな情報提供に努めることとしていたが、該当する2件について、届出のあった日のうちに県の公式ツイッターで情報発信を行った。	継続 ・ 事業者の適切な指導に努め、ホームページへの掲載等により県民への周知を図る	県民くらしの安全課	(主) II-3

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連 指標
7 自主回収報告制度による食品回収情報の適切な提供	（２）食品の適正表示を推進する者の養成（再掲）	30	食品適正表示推進者養成講習会への講師派遣	事業者を主な対象とした食品表示に係る講習会を（一社）岩手県食品衛生協会の後援を受け実施し、事業者による食品表示の適正化を支援した。 （食品関連事業者88名参加）	継続	県民くらしの安全課	（主） Ⅱ - 1
8 食育を通じた食の安全安心に関する知識の普及啓発	（１）食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進	31	食の安全安心に関するリスクコミュニケーションの実施（再掲）	（再掲 施策 6 (1)) ①劇場型リスクコミュニケーション ・食品表示講習会（1/16、120人） ②講座型リスクコミュニケーション（食の安全安心を考える講座、合計132人） ・食中毒（8/22、31人） ・輸入食品（8/22、32人） ・食品安全（9/16、36人） ・リスクミ講師育成講座（9/16、16人）※講座型リスクミとして実施 ・牛乳工場オンライン見学（10/31、17人）	継続 ・新型コロナウイルス感染症対策のうえ、劇場型で多くの県民が参加できる機会を確保するとともに、質問や対話がしやすい講座型の開催を継続	県民くらしの安全課	（主） Ⅱ - 2 （参） Ⅱ - 2
		32	食の安全安心に関する出前講座等の実施（再掲）	（再掲 施策 6 (2)) ・52回実施、延1,552名受講。 （テーマ：食中毒、食品表示、HACCP等） （令和5年1月25日時点）	継続	県民くらしの安全課	（主） Ⅱ - 3

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連 指標
8 食育を通じた食の安全安心に関する知識の普及啓発	(1) 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進	33	食品の安全性等に関する情報の提供	【復興危機管理室】 ・県の放射線影響対策の取組や県産食材の放射性物質濃度検査結果等について、ホームページや県政広報誌「いわてグラフ」で情報を発信。 ・放射線影響対策に係る県の取組をとりまとめた「岩手県放射線影響対策報告書」を発行。	【復興危機管理室】 継続 ・引き続き県民等の不安の解消や風評被害の払拭に向け取り組む	復興危機管理室	
				【環境保全課】 ・県で作成した放射線の基礎知識にかかるリーフレットを活用した普及啓発 ・空間線量率の連続モニタリングのほか、雨や雪、大気中のちり、河川水、海水、土壌、農水産物等（水道水、原乳、野菜類、穀類、海藻及び貝類）について放射性物質の測定結果を公表	【環境保全課】 継続	環境保全課	
				【県民くらしの安全課】 ・食の安全安心DVD等による情報発信。 ・食品表示に係る研修会を、保健所において計47回開催し、のべ1,448人が参加。（12月末時点） ・健康への危険度が最大の「クラス1」であって、現に流通している食品の回収があった場合、SNSを活用して速やかな情報提供に努めることとしていたが、該当する2件について、県の公式ツイッターにより速やかな情報発信を行った。	【県民くらしの安全課】 継続 SNSの活用	県民くらしの安全課	
		34	食育担当者等を対象とした研修会の開催（学校における食育の推進）	（食育推進計画に同じ） ・研修会において、食に関する指導の実践事例の紹介等により、学校における食育の推進を支援した。 ・食育推進等研修会（オンライン開催） （オンデマンド配信期間：10/27～12/9、受講者135名）	継続	保健体育課	(参) Ⅱ-5 Ⅱ-6

施策	取組項目	No	取組内容	R4の取組	R5年度の方角性（予定）	担当課等	関連指標
8 食育を通じた食の安全安心に関する知識の普及啓発	(1) 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進	35	学校における食育教材の活用促進 (学校における食育の推進)	(食育推進計画に同じ) ・栄養教諭新規任用研修等において、食育教材を活用した指導方法の普及を図った。 ・栄養教諭新規任用研修 (4/19、受講者1名) ・岩手県栄養教諭学校栄養職員研修会 (6/22、受講者119名) ・食育推進等研修会(オンライン開催) (オンデマンド配信期間:10/27~12/9、受講者135名)	継続	保健体育課	(参) Ⅱ-5 Ⅱ-6
		36	食に関する指導の全体計画作成と食育担当者の設置 (学校における食育の推進)	(食育推進計画に同じ) ・研修会等において、食に関する指導の在り方や全体計画作成の紹介等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援した。 ・食育推進等研修会(オンライン開催) (オンデマンド配信期間:10/27~12/9、受講者135名)	継続	保健体育課	(参) Ⅱ-5 Ⅱ-6
	(2) 食育などを通じた農林水産業に対する理解の増進	37	学校等における農林漁業体験学習の支援	・農林漁業体験インストラクター等の派遣・紹介や、体験学習、関係施設の見学等の受入などの支援を実施。 (実施件数約120件、参加人数約9,800人)※R4見込	継続	農林水産企画室等	
		38	酪農体験等の学習支援	・「酪農出前教室」未実施の小学校で、牛乳及び酪農の知識普及の活動を実施した(20の小学校で実施)。	継続 ・「酪農出前教室」未実施の小学校を中心に、牛乳及び酪農の知識普及の活動を実施予定	流通課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
8 食育を通じた食の安全安心に関する知識の普及啓発	(2) 食育などを通じた農林水産業に対する理解の増進	39	生産者と消費者の結び付きを深めた地産地消取組の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・食のプロフェッショナルチームアドバイザーの派遣等により、産直施設等（重点産直5施設）の運営強化の取組や生産者、食品事業者との連携を支援した。 ・地産地消促進計画未策定の市町村（1か所）に対し、策定を働きかけを行い、計画策定となった。 ・「いわて地産地消給食実施事業所」（R4.12末現在で79事業所）及び「いわて地産地消弁当」（R4.12末現在で15個）の認定を実施するとともに、ホームページ等を活用し地産地消情報を発信した。 ・学校栄養教諭等に対する研修を実施するとともに（1回）、小学校における地産地消の取り組みの支援（2回）を行った。 	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー派遣等により、産直施設等の運営強化の取組や生産者、食品事業者の連携を支援 ・各市町村地産地消促進計画等の着実な実施支援。 ・「いわて地産地消給食実施事業所」及び「いわて地産地消弁当」の認定を実施するとともに、ホームページ等を活用し、地産地消情報を発信 ・学校栄養教諭等に対する研修を実施（2回程度） 	流通課	

Ⅲ 監視・指導の強化等による安全安心を支える体制の充実

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
9 生産段階における監視・指導	(1) 農薬使用者、販売者に対する農薬適正使用の指導	40	農薬適正使用研修会の開催や現地指導	<ul style="list-style-type: none"> ・（再掲）農薬適正販売・使用研修会を開催し、167名が参加した。（10月12日、北上市） ・農薬危害防止運動を実施した。（6～8月） ・産直組織、卸売市場等への農薬適正使用重点指導を実施した。（6～12月） ・冬期間の施設栽培葉菜類における農薬適正使用の重点指導を関係指導機関・団体や産地直売所に対して通知（9/22）。 	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、農薬使用者や販売者に対する農薬適正販売・使用を指導する。 	農業普及技術課	(主) I - 1 II - 3

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
9 生産段階における監視・指導	(2) 飼料、動物用医薬品の適切な管理・適正な使用の指導	41	飼料の安全性試験の実施	・ 14事業場14点の飼料について肉骨粉の混入について鑑定を実施。	継続 ・ 引き続き飼料の安全性試験を実施	畜産課	
		42	動物用医薬品使用実態調査の実施	・ 32農場に対して動物用医薬品の使用実態調査を実施。	継続 ・ 引き続き動物用医薬品の使用実態を調査し、違反事例がないか監視	畜産課	
	(3) 家畜伝染性疾病の発生予防、まん延防止のための各種疾病の検査・監視	43	サーベイランスの実施	・ サーベイランスを実施し、伝染性疾病の発生状況を監視。 ・ サーベイランス対象疾病及び検査件数 ①結核 406件、②ブルセラ症 1,252件、③BSE 1,293件、④HPAI 1,680件	継続 ・ 引き続きサーベイランスを実施し、伝染性疾病の発生状況を監視	畜産課	
		44	農場への監視・指導	・ 飼養衛生管理基準の改正を農場へ周知 ・ サーベイランス検査にあわせ、農場の飼養衛生管理基準の遵守状況を確認し、必要に応じて改善指導を実施。	継続 ・ 引き続き農場の飼養衛生管理基準の遵守状況を確認し、必要に応じ改善指導を実施	畜産課	
	(4) 水産物の衛生管理に係る指導	45	衛生管理研修会講習会の開催、衛生管理の現場指導	・ 水産物の安全性を確保するため、高度衛生品質管理地域づくりに取り組む市町村の地域計画の実行支援や、衛生管理研修会の開催、専門のアドバイザーによる衛生指導等により各段階でのIF r HACCPの導入を促進した。	継続 ・ 引き続き、衛生管理研修会の開催や衛生指導による高度衛生品質管理地域づくりを推進	水産振興課	(参) III-1
9 生産段階における監視・指導	(5) 貝毒の監視等に係る指導	46	貝毒の監視等（貝毒検査、出荷規制等）に係る指導	・ 県の貝毒管理措置要綱等に基づき、県漁業協同組合連合会と連携し、漁協に対して監視等の徹底を指導した。 （貝毒原因プランクトンの監視、業界による自主検査、規制値を超えた場合の出荷規制等）	継続 ・ 引き続き貝毒原因プランクトンおよび貝毒の監視を実施し、必要に応じて改善指導を実施	水産振興課	(主) III-1
	(6) ノロウイルスの監視等に係る指導	47	ノロウイルスの監視等（出荷前検査）に係る指導	・ 県と業界の対応指針に基づき、県漁業協同組合連合会と連携し、漁協に対して監視等の徹底を指導。 （業界による自主検査、ノロウイルスが検出された場合の出荷自粛等）	継続 ・ 引き続き生力キのノロウイルスの監視を実施し、必要に応じて改善指導を実施	水産振興課	(参) III-2

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方針性（予定）	担当課等	関連 指標
10 製造・加工、流通段階における監視・指導	(1) 県内流通食品に対する検査及び監視・指導	48	食品衛生監視員による施設監視	・各保健所の食品衛生監視員が食品関係営業施設の監視指導を計画的に実施。 監視率 95.3%（12月末時点）	継続	県民くらしの安全課	(参) I-5 III-3
		49	食品衛生監視員による事業者への講習会の実施	・各保健所の食品衛生監視員が計画的に、事業者に対し衛生講習会を開催。 （127回、3,003人）（12月末時点）	継続	県民くらしの安全課	(参) I-3 III-3
	(2) 食品における残留農薬や添加物等の検査の実施	50	流通食品の収去検査の実施	・各保健所の食品衛生監視員が収去検査を計画的に実施。（12月末時点992検体、基準値違反事例1件）	継続 ・引き続き流通食品の検査を実施し、必要に応じ指導を実施する	県民くらしの安全課	(参) I-3 III-4
		51	残留農薬や遺伝子組換え食品に係る収去検査	・残留農薬100検体、遺伝子組換え食品6検体、収去検査を実施。（12月末時点） （基準値違反なし）	継続	県民くらしの安全課	(参) III-4 III-6
	(3) 食品表示に関する店舗への指導（再掲）	52	食品表示に関する店舗への指導	（再掲 施策5(1)） ・県内の事業者店舗について、表示点検を実施。	継続	県民くらしの安全課	
		53	食品衛生法に基づく監視・指導と併せた食品表示制度の普及	（再掲 施策5(1)） ・監視時において適正な食品表示制度の普及に努めた。	継続	県民くらしの安全課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
10 製造・加工、流通段階における監視・指導	（４）「健康食品」による健康被害の防止のための監視・指導等	54	食品・薬務合同監視指導等	・各保健所の薬事監視員と食品衛生監視員が連携し、監視指導を実施。 ・痩身・強壮用健康食品及び指定薬物の含有が疑われる物の買上調査を実施した。（５品目）	継続	健康国保課、県民くらしの安全課	(参)Ⅲ- 5
		55	県民への健康食品に関する普及啓発	・各保健所にリーフレットを配架するなど、県民への普及啓発を図った。	継続	健康国保課、県民くらしの安全課	(参)Ⅲ- 5
	（５）と畜検査・食鳥検査等の適正実施及びと畜場、食鳥処理場に対する衛生的な処理の指導	56	と畜場及び食鳥処理場への監視指導	・岩手県食品衛生監視指導計画に基づき計画的に監視指導を実施。 （と畜場579件、食鳥処理場39件）12月末時点	継続	県民くらしの安全課	
		57	と畜場及び食鳥処理場の作業従事者への衛生講習会の実施	・作業従事者に対して計画的に衛生講習会を開催。 （と畜場22回465人、食鳥処理場1回39人）12月末時点	継続	県民くらしの安全課	
	（６）大規模イベントに向けた監視指導等の強化	58	次期大規模イベントに向けた飲食店関係施設への立入指導	・大規模イベントでの食品事故発生防止に努める ・令和４年9月に開催の全国スポーツマスターズ岩手大会に際し、宿泊施設等への衛生講習会及び集中的な監視を実施した。 （衛生講習会7回・62名参加。大会に関係する宿泊施設105箇所、仕出し・弁当施設4か所の監視指導） ・令和５年２月に開催の冬季国体スキー大会に際し、宿泊施設等への衛生講習会及び集中的な監視を実施しているところ。 （衛生講習会１回・27名参加。大会に関係する宿泊施設、仕出し・弁当施設の監視指導を実施中）	継続 ・大規模イベントでの食品事故発生防止に努める	県民くらしの安全課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
10 製造・加工、流通段階における監視・指導	（7）野生鳥獣肉に係る衛生管理の監視・指導	59	野生鳥獣肉の処理を行う施設への立入指導	・野生鳥獣肉の処理を行う施設2施設中1施設に対し、立入指導を実施。	継続	県民くらしの安全課	
11 輸入食品に対する監視・指導	（1）輸入食品に対する収去検査と監視・指導	60	輸入食品の収去検査	・輸入食品について、44検体の収去検査を実施し、違反なし。（12月末時点）	継続 ・引き続き流通食品の検査を実施する	県民くらしの安全課	（主）Ⅲ-3
		61	輸入業者事務所等への立入指導	・輸入事業者に対し、立入指導を実施。違反事例なし。	継続	県民くらしの安全課	（主）Ⅲ-3
	（2）国との連携による輸入食品に関する検査等の情報の提供	62	国の検疫所等における検査等の情報収集、提供	・岩手県食品衛生監視指導計画に基づき県が行った、輸入食品等に関する収去検査結果をホームページにて公表。（44検体の収去検査を実施し、違反なし）（12月末時点）	継続 ・引き続き公表する	県民くらしの安全課	（主）Ⅲ-3
12 危機管理体制の充実	（1）食に関する危機管理対策の運用と訓練の実施	63	危機管理訓練等の実施	【防災課】 ・訓練等の支援。	継続	防災課	
				【県民くらしの安全課】 ・高病原性鳥インフルエンザ家畜防疫作業支援班員の研修会を、実開催5回及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催により実施した。	継続 ・引き続き班員の理解を増進	県民くらしの安全課	
				【畜産課】 ・高病原性鳥インフルエンザ家畜防疫支援班長を対象に、高病原性鳥インフルエンザや豚熱に関する現地統括訓練を開催（1回）	継続 ・引き続き現地統括訓練を開催	畜産課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連 指標
12 危機管理体制の充実	(1) 食に関する危機管理対策の運用と訓練の実施	64	危機管理に関するマニュアル等の整備	【防災課】 ・マニュアル整備等の支援。	継続	防災課	
				【県民くらしの安全課、畜産課】 ・高病原性鳥インフルエンザ家畜防疫作業支援班設置要領に基づく班長21名及び班員630名体制を整備。また、本部及び地方支部における危機警戒連絡網を整備。	継続 ・有事の際の迅速な対応のため、整備を推進	県民くらしの安全課、畜産課	
		65	食中毒対策緊急連絡訓練の実施	・食中毒対策緊急連絡訓練 1回実施 ・広域連携協議会による広域食中毒発生時訓練 1回実施	継続	県民くらしの安全課	(主) Ⅲ-4
	(2) 食中毒等発生時における被害の拡大防止	66	危機対策の実施による被害の拡大防止	・関係機関と情報共有及び連携を保ち、発生時における迅速な対応を図るとともに、リーフレット配付等により飲食店及び消費者への注意喚起を実施。 (R4 食中毒発生件数12件)	継続	県民くらしの安全課	
	(3) 災害発生時の食の安全安心の確保	67	災害に備えた食料の備蓄	・岩手県災害備蓄指針に基づく計画的な備蓄実施。 ・県民や事業所へ備蓄を進めるための広報（ホームページなど）の実施。	継続	防災課	
		68	災害発生時食品衛生マニュアル等の整備	・災害が発生した場合は、食中毒防止や被害拡大等の対策に取り組む。	継続	県民くらしの安全課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連 指標
13 食品の 安全性確保 等に関する 調査研究の 推進	（１）残留農薬 や動物用医薬品 の分析体制の強 化	69	試験法開発事 業への参加等 による最新知 見と技術の習 得	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省が残留農薬等の試験法を開発するため に実施する事業に参加し、畜水産物9食品を対象に試 験法の妥当性評価を実施した。 残留農薬等の迅速かつ効率的な分析を行うため、 農産物10品目の妥当性評価及び17品目の添加回収実 験を行い、試験方法の改良に取り組んだ。 	継続	環境保健研 究センター	(主) Ⅲ- 5
	（２）食の安全 安心に関する試 験研究の実施	70	食の安全安心 を支えるため に必要な試験 検査に関する 研究の実施	<ul style="list-style-type: none"> 麻痺性貝毒の増減に関するフィールドデータの蓄 積を行うため、ホタテガイを採取し液体クロマトグ ラフ質量分析計（LC-MS/MS）を用いて分析した。 また、遺伝子情報によるキノコの同定を可能とす るため、PCR法を用いた試験法に関する検討を行っ た。 食品添加物検査の効率的な実施を可能とするた め、違反が散見される指定外着色料の分析条件を確 定した。 	継続	環境保健研 究センター	(参) Ⅲ- 8

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方角性（予定）	担当課等	関連 指標
14 情報の提供と相談体制の充実	(1) 食品の安全安心に関する情報の発信	71	情報発信	<p>(再掲 施策 8(1))</p> <ul style="list-style-type: none"> 県の放射線影響対策の取組や県産食材の放射性物質濃度検査結果等について、ホームページや県政広報誌「いわてグラフ」で情報を発信。 放射線影響対策に係る県の取組をとりまとめた「岩手県放射線影響対策報告書」を発行。 	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き県民等の不安の解消や風評被害の払拭に向け取り組む 	復興危機管理室	(参) Ⅲ-8
				<p>(再掲 施策 8(1))</p> <ul style="list-style-type: none"> 県で作成した放射線の基礎知識にかかるリーフレットを活用した普及啓発 空間線量率の連続モニタリングのほか、雨や雪、大気中のちり、河川水、海水、土壌、農水産物等（水道水、原乳、野菜類、穀類、海藻及び貝類）について放射性物質の測定結果を公表 	<p>【環境保全課】</p> <p>継続</p>	環境保全課	
				<ul style="list-style-type: none"> 食品に関する信頼の向上と魅力ある岩手の食を提供する調理師の資質向上等を図るため、「食のおもてなし 調理師のつどい」を開催。（11/21 参加者60名） <p>(再掲 施策 8(1)33)</p> <ul style="list-style-type: none"> 食の安全安心DVD等による情報発信。 県ホームページ等による食中毒注意喚起の情報提供を行った。 健康への危険度が最大の「クラス1」であって、現に流通している食品の回収があった場合、SNSを活用して速やかな情報提供に努めることとしていたが、該当する2件について、県の公式ツイッターにより速やかな情報発信を行った。 	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 著名料理人による講演会の実施 各種媒体による情報提供 	県民くらしの安全課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方角性（予定）	担当課等	関連 指標
14 情報の提供と相談体制の充実	(2) 食品に関する相談の実施（一部再掲）	72	食品表示110番の設置と県民から相談等の対応、指導の実施	(再掲 施策 5 (2)) ・食品表示110番の開設 ・食品表示専門員 1 名を配置した。 ・食品表示110番受理件数 9 件。	継続	県民くらしの安全課	(主) Ⅱ - 1
		73	研修計画に基づく研修の実施	・国及び関係機関主催研修 8 人（集合研修の他、誌上発表、オンライン研修参加を含む） ・新任食品衛生監視員研修 7 人	継続	県民くらしの安全課	
	(4) 県産食材等の放射性物質検査及び検査結果の公表	74	放射性物質検査及び検査結果の公表	・県産食材の放射性物質濃度検査結果等について、ホームページや県政広報誌「いわてグラフ」で情報を発信。	継続 ・引き続き県民等の不安の解消や風評被害の払拭に向け取り組む	復興危機管理室	
				・県産農林水産物について、四半期毎に作成する「県産農林水産物の放射性物質濃度の検査計画」に基づき、放射性物質濃度の検査を実施。 検査件数：4,365件 うち基準値超過件数0件（令和4年9月末現在） ・検査計画は、国の「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」に基づき策定。	継続	農林水産企画室等	
				・流通食品について、岩手県食品衛生監視指導計画に基づき、収去検査を計画的に実施し、食品中の放射性物質濃度の測定を実施した。 （検査件数160件 うち基準値超過件数0件）12月末時点	継続 ・流通食品に関する検査の継続	県民くらしの安全課	

岩手県食育推進計画 取組状況と次年度の方向性

計画の柱	施策 の数	取組内 容の数	令和 4 年度の実施	令和 5 年度の方向性（予定）
I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進	3	30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね予定通り実施 ・ 一部は、新型コロナウイルス感染症の影響により方法を変更または実施できず 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほとんどの取組を継続して実施予定 ・ 新規、一部拡充 （取組No.20「新しい生活様式」に応じた健全な食生活の実践への支援」） （取組No.49「地域における生産者や加工業者等で構成する組織づくりの支援、地産地消促進計画策定推進と地産地消の取組支援」） など
II 食の安全安心を支える食育の推進	2	16		
III 食料供給県としての特性を生かした食育の推進	2	14		
IV 地域に根ざした食育の推進	2	14		

I 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
1 乳幼児等の健全な食習慣の形成	(1) 妊産婦や乳幼児の食事指導への支援	1	妊産婦のための食事バランスガイドの普及	・ 岩手型母子健康手帳中「妊娠中と産後の食事」「妊娠中と産後の食事の目安」についての項目を記載し、妊娠届出時に市町村にて妊産婦に対し岩手型母子健康手帳を交付することで普及啓発に努めた。	継続	子ども子育て支援室	(参) 1
		2	授乳・離乳の支援ガイドの普及	・ 市町村母子保健担当者等の妊産婦や子どもに関わる保健医療従事者に対して、離乳・授乳の支援ガイドの普及啓発に努めた。	継続	子ども子育て支援室	
	(2) 子育て相談の実施	3	基本的な生活習慣や食生活をはじめとする子育てに関する電話相談やメール相談の実施	・ 各市町村で実施している子育て相談への支援を行った。 ・ 子育てサポートセンターの委託事業を継続、相談窓口を設置し、子育てに関する相談への助言や各機関への紹介を行った。	継続	子ども子育て支援室	(参) 1
	(3) 口腔の健康づくりの推進	4	口腔の健康づくりの推進	・ 乳幼児の保護者、保育士等に対し、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育等により啓発した。 <保健所> ・ フッ化物洗口支援事業 <岩手県口腔保健支援センター> ・ 行政歯科担当者研修会(資料提供で対応予定) (次ページへ続く)	継続	健康国保課	(参) 1～3

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
1 乳幼児等の健全な食習慣の形成	（３）口腔の健康づくりの推進	4	口腔の健康づくりの推進	（前ページからの続き） ・乳幼児のフッ化物応用強化啓発 厚生労働省「フッ化物洗口の推進に関する基本的な考え方」、「フッ化物洗口マニュアル（2022年版）」の情報提供 ・イー歯トープ8020出前健口講座 ・普及啓発イベント等 8020健康フェスタ中止 いい歯の日県民公開講座（11月6日） イー歯トープ8020表彰式（12月3日） （岩手県よい歯のコンクール幼児対象部門は中止） 「イー歯トープ8020ニュースレター」発行(通年) 「イー歯トープ8020健口情報シリーズ」 (ホームページ公開)	継続	健康国保課	(参) 1～3
	（４）特定給食施設等への指導	5	特定給食施設への立入検査・指導を実施	・保健所管理栄養士が保育所等児童福祉施設を対象に「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく栄養管理の実施に必要な指導助言等を行うため巡回指導を実施した。【実績集計中】	継続	健康国保課	(参) 7～9

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
1 乳幼児等の健全な食習慣の形成	（４）特定給食施設等への指導	6	給食担当者の資質向上のための研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく栄養管理の実施並びに危機管理対策等、給食施設における課題改善のための研修会を保健所単位で開催した。 児童福祉施設担当者向け研修会【実績集計中】 ・「食事摂取基準2020年版」に基づく児童福祉施設栄養給与目標量算定資料の公開。【ホームページ閲覧数集計中】 	継続	健康国保課	
2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成	（１）学校における食育の推進	7	食育担当者等を対象とした研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会において、食に関する指導の実践事例の紹介等により、学校における食育の推進を支援した。 ・食育推進等研修会（オンライン開催）（オンデマンド配信期間：10/27～12/9、受講者135名） 	継続	保健体育課	(主) I - 1 ～2 (参) 4～5
		8	学校における食育教材の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭新規任用研修等において、食育教材を活用した指導方法の普及を図った。 ・栄養教諭新規任用研修（4/19 受講者1名） ・岩手県栄養教諭学校栄養職員研修会（6/22開催 受講者119名） ・食育推進等研修会（オンライン開催）（オンデマンド配信期間：10/27～12/9 受講者135名） 	継続	保健体育課	
		9	食に関する指導の全体計画作成と食育担当者の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等において、食に関する指導の在り方や全体計画例の紹介等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援した。 ・食育推進等研修会（オンライン開催）（オンデマンド配信期間：10/27～12/9、受講者135名） 	継続	保健体育課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成	(1) 学校における食育の推進	10	早寝早起き朝ごはん運動の推進	・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を活用し、普及啓発を行った。	継続	生涯学習文化財課	(主) I - 1 (参) I - 6
		11	食に関わる教育活動への支援	・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援した。	継続	学事振興課	
	(2) 肥満予防のための取組支援	12	教諭、養護教諭、栄養教諭等を対象とした研究大会や研修会の開催	1 運動習慣、食習慣及び生活習慣の改善等の一体的な取組の推進に向けた学校等の環境づくりを支援した。 (1) 運動習慣、食習慣、生活習慣の計画立案等を支援する「新チャレンジカード」を作成・配布した。 (2) 学校等への訪問による支援を実施した。 (3) 優れた取組（学校）の表彰制度を創設した。 （令和4年度「60プラスプロジェクト」推進事業実践交流会において表彰予定（2/17予定）） 2 指導資料の活用の推進 保護者を対象とした食習慣啓発資料や 中高生の肥満予防・改善指導資料を活用し、家庭や地域と連携した取組や保護者への啓発による、適度な運動習慣、望ましい食習慣、基本的な生活習慣の形成・定着に向けた取組を推進した。 3 食育推進等研修会の開催（オンライン開催） （オンデマンド配信期間：10/27～12/9 受講者135名）	継続	保健体育課	(主) I - 2 (参) 5

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方角性（予定）	担当課等	関連指標
2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成	（2）肥満予防のための取組支援	13	体力向上担当者等を対象とした研修会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の「希望郷いわて元気・体力アップ60運動」を継承・発展させた「60プラスプロジェクト」推進事業について研修会や学校訪問等により周知した。 ・地区別体力向上担当者研修会の実施 小学校対象 4 地区実施 受講者183名 中学校対象 6 地区実施 受講者145名 	継続	保健体育課	(主) I - 2 (参) 5
	（3）地域との連携による推進	14	地域と連携して取組んだ事例の周知	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等において、地域との連携事例を周知。 ・食育推進等研修会（オンライン開催） （オンデマンド配信期間：10/27～12/9 受講者135名） 	継続	保健体育課	(主) I - 1 ～2 (参) 4～6
	（4）「食育だより」などを通じた家庭への働きかけ	15	食育だより等による家庭への情報提供の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭新規任用研修等において、食育だより等の情報共有を図った。 	継続	保健体育課	(主) I - 1 ～2 (参) 4～5
	（5）教育振興運動の展開	16	子ども・家庭・学校・地域・行政の5者連携による教育振興運動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインで市町村担当者研修会を開催した（5/18参加者88名）。 ・市町村が実施する研修会等において、教育振興運動の推進に係る説明や助言を行った（合計4回、参加者228名）。 	継続	生涯学習文化財課	(参) 6

施策	取組項目	No	取組内容	R4の取組	R5年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成	(6) 口腔の健康づくりの推進	17	口腔の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒、保護者及び教職員に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育等により啓発するとともに、フッ化物洗口の導入に関する市町村支援を行った。 <p><保健所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物洗口支援事業 ・思春期歯肉炎予防事業 <p><岩手県口腔保健支援センター></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政歯科保健担当者研修会（書面開催予定） ・学齢期のフッ化物応用強化に係る啓発 <p>厚生労働省「フッ化物洗口の推進に関する基本的な考え方」、「フッ化物洗口マニュアル（2022年版）」の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イー歯トープ8020出前健口講座【実績集計中】 ・普及啓発イベント等 <p>8020健康フェスタ中止</p> <p>いい歯の日県民公開講座（11月6日）</p> <p>「イー歯トープ8020ニュースレター」発行(通年)</p> <p>「イー歯トープ8020健口情報シリーズ」（ホームページ公開）</p>	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、地域課題に応じた県民公開講座を開催予定。 	健康国保課	(参) 1～3
2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成	(7) 特定給食施設への指導（再掲）	18	特定給食施設への立入検査・指導を実施	<p>（再掲 I-1-(4)）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所管理栄養士が小中学校及び学校給食センターを対象に「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく栄養管理の実施に必要な指導助言等を行うため巡回指導を実施した。【実績集計中】 	継続	健康国保課	(参) 7～9

施策	取組項目	No	取組内容	R4の取組	R5年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
2 小学生・中学生・高校生の健全な食習慣の形成	(7) 特定給食施設への指導 (再掲)	19	給食担当者の資質向上のための研修会の開催	(再掲 I-1-(4)) ・「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく栄養管理の実施並びに危機管理対策等、給食施設における課題改善のための研修会を保健所単位で開催した。 小中学校（学校給食センター）担当者向け研修会【実績集計中】	継続	健康国保課	
3 生涯にわたる健全な食習慣の形成	(1) 「新しい生活様式」に応じた健全な食生活の実践への支援	20	「新しい生活様式」に応じた健全な食生活の実践への支援	・新型コロナウイルス感染症の流行により、家庭で食事を楽しむ機会が増えるとともに日々の食生活の重要性が再認識されたことを踏まえ、誰もが健康的な食事を家庭で実践できるよう食品関連事業者と連携した食環境の整備や普及啓発を強化した。 ①健康的な食事サポート環境整備事業（新規：岩手県栄養士会への委託） おいしく健康に配慮した総菜の販売をとおした食環境整備促進 ②食品関連事業者に対する栄養成分表示に関する指導【実績集計中】 ③マスメディア及び食品関連事業者と連携した減塩の機運醸成(一部新規) 7/28を中心に県内民放4局において減塩に関するCMスポット放映 ④「健康的な食事推進マスター」養成講座 【実績見込 150人養成 累計570人養成】	継続・拡充 主食・主菜・副菜を揃えたバランスよい食事の実践を支援するため、野菜摂取や減塩に配慮した総菜の販売拡大するなど、食品関連事業者と連携することで誰もがより健康的な食物選択を可能とする食環境の整備に取り組む	健康国保課	(参) 7 ~ 10

施策	取組項目	No	取組内容	R4の取組	R5年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
3 生涯にわたる健全な食習慣の形成	(2) 食事バランスガイドの普及	21	食事バランスガイドの普及推進	<ul style="list-style-type: none"> ・各保健所において内臓脂肪をためにくい健康的な食事の組み合わせや食べ方について指導できる「健康的な食事推進マスター」の養成事業を実施し、生涯にわたる健全な食習慣形成のための取り組み体制の充実を図った。 ①健康的な食事推進マスター養成者数 【R4実績見込150人】 ②健康的な食事推進マスターによる地域普及活動【R4実績集計中】 住民向け健康講座・事業所従業員向け健康講座・児童、生徒、保護者向け食育講座等での講師対応 	継続・拡充 健康的な食事推進マスターの活動支援のための情報交換会や指導スキル向上のための研修を予定	健康国保課	(参) 7 ~ 10
		22	県版食事バランスガイドの利用と普及	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による普及啓発に努めた。 	継続 ・引き続き、ホームページによる普及啓発に努めるとともに、学校給食会等を通じて、周知を図る	流通課	(参) 7 ~ 10
	(3) 食生活改善ツール等の活用及び普及	23	わかりやすい教材の作成・普及	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善ツールとして県が作成した岩手県オリジナルバランス弁当箱の活用と普及のために食生活改善推進員が考案した“わがまちのバランス弁当”を岩手県食育推進県民大会においてポスター展示し、いわての食と食生活改善の普及活動について情報発信をした。 ・民間企業等及び岩手県栄養士会との協働により、おいしい適塩料理実践のためのレシピ集(8,000部)を作成した。2月から順次配布計画 	継続	健康国保課	(参) 7 ~ 10

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
3 生涯にわたる健全な食習慣の形成	(4) 健康づくりボランティア等の育成・活動支援のための研修等の実施	24	地域で健康づくり活動を行うボランティアの研修会等の開催	・市町村におけるボランティア養成の支援や育成等を行った。 6/10 市町村食生活改善推進協議会長等研修会 75人	継続	健康国保課	(参) 7 ~ 10
	(5) 栄養・健康づくり関係者の資質向上のための研修等の実施	25	市町村栄養士や健康運動指導士等を対象とした食生活改善・運動指導者等の研修会の開催	・行政栄養士研修会及び健康運動指導者研修会を開催した。 1 行政栄養士研修会：岩手県栄養士会への業務委託【R4実績集計中】 (1)新人研修：アイーナ及びオンライン 2回 ①2/17予定 ②3/6予定 (2)行政栄養士研修1回 68人 12/9 マリオス及びオンライン 2 健康運動指導者研修会：令和5年3月13日(予定)【R4実績見込 70人】	継続	健康国保課	(参) 7 ~ 10
	(6) 地域の食生活習慣実態の調査の実施	26	幼児、児童生徒、成人等の食生活習慣に関する実態調査の実施と県民への情報提供	・県民の栄養摂取状況や生活習慣の現状及び課題を明らかにするため、R4年11月に県内13地区(約600世帯 1,400人)を対象に「県民生活習慣実態調査」を実施した。 ・環境保健研究センターでは「いわて健康データウェアハウス」に集積された各種健康関連データから得られた健康課題等をホームページ等を通じて、県民にわかりやすい健康情報の提供を行った。また、学校におけるICT環境整備に対応し、新たにインターネット端末を活用した生活習慣のデータ収集方法について検討を進めた。	県民への情報提供は継続	健康国保課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方針性（予定）	担当課等	関連 指標
3 生涯にわたる健全な食習慣の形成	（ 7 ） 飲食店等の栄養成分表示等の促進	27	飲食店等における栄養成分表示等の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健所管理栄養士がメニューに栄養成分表示をする飲食店の新規登録に向け指導及び支援を行った。 ① 飲食店への個別相談指導【実績集計中】 ② 今年度新規登録店【実績集計中】 ③ 外食栄養成分表示登録店制度についての周知【実績集計中】 	継続 ・ 店舗数増加及び表示メニューの増加に向けた働きかけを強化する。	健康国保課	
	（ 8 ） 口腔の健康づくりの推進	28	口腔の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民の歯と口の健康に関する現状及び課題を明らかにするために歯科疾患実態調査を実施した。 <県・岩手県歯科医師会> 岩手県歯科疾患実態調査 令和5年11月～12月 全県1200人対象に実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ すべての年齢層の地域住民に対して、歯と口の健康、噛むことの大切さを歯と口の健康教育等により啓発した。 <保健所> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成人の歯周病予防事業 <岩手県口腔保健支援センター> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政歯科保健担当者研修会予定 ・ 生涯にわたるフッ化物応用強化啓発 厚生労働省「フッ化物洗口の推進に関する基本的な考え方」、「フッ化物洗口マニュアル（2022年版）」の情報提供 （次ページに続く）	継続 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、地域課題に応じた県民公開講座を開催予定。	健康国保課	（参） 1～3

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方針性（予定）	担当課等	関連 指標
3 生涯にわたる健全な食習慣の形成	(8) 口腔の健康づくりの推進	28	口腔の健康づくりの推進	(前ページからの続き) ・ イー歯トープ8020出前健口講座（1回39名、他2月予定1回） ・ 普及啓発イベント等 8020健康フェスタ(中止) いい歯の日県民公開講座(11月6日奥州市 90人) （テーマ：糖尿病と歯周病・フレイル） イー歯トープ8020表彰式（12月3日） 「イー歯トープ8020ニュースレター」発行(通年) 「イー歯トープ8020健口情報シリーズ」 （ホームページ公開）	継続 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、地域課題に応じた県民公開講座を開催予定。	健康国保課	(参) 1～3
	(9) 特定給食施設への指導 (再掲)	29	特定給食施設への立入検査・指導を実施	(再掲 I - 1 - (4)) ・ 保健所管理栄養士が「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく栄養管理の実施に関する必要な指導助言等を行うための巡回指導を実施した。 【実績集計中】	継続	健康国保課	(参) 7～9
		30	給食担当者の資質向上のための研修会の開催	(再掲 I - 1 - (4)) ・ 「食事摂取基準2020年版」及び健康増進法に基づく栄養管理の実施並びに危機管理対策等、特定給食施設における課題改善のための研修会を保健所単位で開催した。 特定給食施設等担当者向け研修会【実績集計中】	継続	健康国保課	

Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進

施策	取組項目	No	取組内容	R4の取組	R5年度の方針性（予定）	担当課等	関連指標
1 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進	(1) 食の安全安心に関するリスクコミュニケーションの実施	31	リスクコミュニケーションの実施	(食の安全安心推進計画のとおり) ①劇場型リスクコミュニケーション ・食品表示講習会(1/16、120人) ②講座型リスクコミュニケーション(食の安全安心を考える講座、合計132人) ・食中毒(8/22、31人) ・輸入食品(8/22、32人) ・食品安全(9/16、36人) ・リスクミ講師育成講座(9/16、16人)※講座型リスクミとして実施 ・牛乳工場オンライン見学(10/31、17人)	継続 ・新型コロナウイルス感染症対策のうえ、劇場型で多くの県民が参加できる機会を確保するとともに、質問や対話がしやすい講座型の開催を継続	県民くらしの安全課	(参) 11
	(2) 食の安全安心に関する出前講座等の実施	32	出前講座の開催や講師派遣の実施	(食の安全安心推進計画のとおり) ・52回実施、延1,552名受講。 (テーマ：食中毒、食品表示、HACCP等) (令和5年1月25日時点)	継続 ・要望テーマに合わせた適切な講師の派遣	県民くらしの安全課	(主) II-1
	(3) 食品の安全性等に関する情報の提供	33	広報等を活用した食品の安全性等に関する情報の提供	(食の安全安心推進計画のとおり) ・食品に関するトレーサビリティ制度について、ホームページ等で周知した。	継続 ・制度について、ホームページ等で引き続き周知を図る	流通課	
				(食の安全安心推進計画のとおり) ・食の安全安心DVD等による情報発信。 ・食品表示に係る研修会を、保健所において計47回開催し、のべ1,448人が参加。(12月末時点) ・健康への危険度が最大の「クラス1」であって、現に流通している食品の回収があった場合、SNSを活用して速やかな情報提供に努めることとしていたが、該当する2件について、県の公式ツイッターにより速やかな情報発信を行った。	【県民くらしの安全課】 継続 SNSの活用	県民くらしの安全課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
1 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進	(4) 災害発生に対応した食の安全安心の確保	34	災害に備えた食料の備蓄	・ 岩手県災害備蓄指針に基づく計画的な備蓄の実施。 ・ 県民や事業所へ備蓄を進めるための広報（ホームページなど）の実施。	継続	防災課	
			災害発生時食品衛生マニュアル等の整備	・ 災害が発生した場合は、食中毒防止や被害拡大等の対策に取り組むとともに、必要に応じて災害発生時食品衛生マニュアルの見直しを実施する。	継続	県民くらしの安全課	
			大規模災害に備えた栄養・食生活支援に関する人材育成及び家庭や給食施設での備蓄等の普及啓発	・ 岩手県栄養士会と連携し、災害時、確実に住民への栄養・食生活支援ができるよう、行政栄養士の役割や特殊栄養食品の備蓄等についての研修会を2回実施した。 9/10オンライン開催(9/26～10/11オンデマンド配信) 12/9行政栄養士研修会において実施（再掲） ・ 市町村アレルギー相談担当者等を対象に災害に備えた食物アレルギー対策に関する講演会を開催。 11/27オンライン開催(～12/31オンデマンド配信)	継続	健康国保課	
	(5) 学校における食育の推進（再掲）	35	食育担当者等を対象とした研修会の開催	（再掲 I-2-(1)） ・ 研修会等において、食に関する指導の実践事例を紹介する等、学校における食育の推進を支援した。 ・ 食育推進等研修会（オンライン開催） （オンデマンド配信期間：10/27～12/9、受講者135名）	継続	保健体育課	

施策	取組項目	No	取組内容	R4の取組	R5年度の方針性（予定）	担当課等	関連指標
1 食の安全安心に関する知識の普及と理解の増進	(5) 学校における食育の推進（再掲）	36	学校における食育教材の活用促進	(再掲 I-2-(1)) ・栄養教諭新規任用研修等において、食育教材を活用した指導方法の普及を図った。 ・栄養教諭新規任用研修（4/19、受講者1名） ・岩手県栄養教諭学校栄養職員研修会（6/22、受講者119名） ・食育推進等研修会（オンライン開催）（オンデマンド配信期間：10/27～12/9、受講者135名）	継続	保健体育課	
		37	食に関する指導の全体計画作成と食育担当者の設置	(再掲 I-2-(1)) ・研修会等において、食に関する指導の在り方や全体計画作成を紹介する等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援した。 ・食育推進等研修会（オンライン開催）（オンデマンド配信期間：10/27～12/9、受講者135名）	継続	保健体育課	
		38	早寝早起き朝ごはん運動の推進	(再掲 I-2-(1)) ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を活用し普及啓発を行った。	継続	生涯学習文化財課	
		39	食に関わる教育活動への支援	(再掲 I-2-(1)) ・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援した。	継続	学事振興課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
2 食品情報の提供と食品表示の適正化の推進	（１）食品に関するトレーサビリティ制度の普及	40	食品に関するトレーサビリティ制度の普及推進	・制度について、ホームページ等で周知した。	継続 ・制度について、ホームページ等で引き続き周知を図る	流通課	
	（２）食品表示に関する店舗への指導	41	店舗に対する食品表示の指導の実施	（食の安全安心推進計画のとおり） ・県内の事業者店舗について、表示点検を実施。	継続	県民くらしの安全課	
		42	食品衛生法に基づく監視・指導と併せた食品表示制度の普及	（食の安全安心推進計画のとおり） ・監視時において適正な食品表示制度の普及に努めた。	継続	県民くらしの安全課	
	（３）食品表示ウォッチャーの委嘱と活動の充実	43	食品表示ウォッチャーの委嘱と研修会の開催	（食の安全安心推進計画のとおり） ・令和4年5月26日から令和5年3月31日までの委嘱期間で31名に委嘱。 ・報告件数154件。（３回目までの合計。全４回報告。） ・第１回研修会：令和４年７月５日開催。 ・第２回研修会：令和５年1月16日開催。	継続 ・ウォッチャーの資質向上に取り組む	県民くらしの安全課	
	（４）食品の適正表示を推進する者の養成	44	食品の適正表示を推進する者の養成講習会への講師派遣	事業者を主な対象とした食品表示に係る講習会を（一社）岩手県食品衛生協会の後援を受け実施し、事業者による食品表示の適正化を支援した。 （食品関連事業者88名参加）	継続	県民くらしの安全課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
2 食品情報の提供と食品表示の適正化の推進	(5) 食品表示に関する相談の実施	45	食品表示110番の設置と県民から相談等の対応、指導の実施	<ul style="list-style-type: none"> 食品表示専門員 1 名を配置した。 食品表示110番受理件数 9 件 	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き専門員を配置し、適切な対応や指導に努める 	県民くらしの安全課	
	(6) 自主回収報告制度の確実な実施及び県民への迅速な情報提供	46	本県事業者の自主回収報告制度による迅速かつ適切な回収と自主回収情報の県民への提供	<ul style="list-style-type: none"> 1/23時点の報告件数25件について、管轄保健所において適切な指導を行ったほか、速やかに国の食品衛生申請等システムに登録し、また、県民くらしの安全課において速やかにホームページに掲載した。 現に流通している食品の回収において、健康への危険度が最大の「クラス1」であった場合、SNSを活用して速やかな情報提供に努めることとしていたが、該当する2件について、届出のあった日中に県の公式ツイッターで情報発信を行った。 	<p>【新計画で「取り組み内容」の項目が変更になっています。下記は旧計画（昨年度）の内容ですのでご注意ください。】</p> <p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者の適切な指導に努め、ホームページへの掲載により県民への周知を図る 	県民くらしの安全課	

Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進

施策	取組項目	No	取組内容	R4の取組	R5年度の方針性（予定）	担当課等	関連指標
1 農林漁業体験などを通じた生産への理解の増進	(1) 学校等における農林漁業体験学習の支援	47	学校等における農林漁業体験学習の支援	・農林漁業体験インストラクター等の派遣・紹介や、体験学習、関係施設の見学等の受入などの支援を実施。 (実施件数約120件、参加人数約9,800人)※R4見込	継続	農林水産企画室	(主)Ⅲ-1 (参)12
	(2) 酪農体験等の学習支援	48	酪農体験等の学習の場の提供	・「酪農出前教室」未実施の小学校で、牛乳及び酪農の知識普及の活動を実施した（20の小学校で実施）。	継続 ・「酪農出前教室」未実施の小学校を中心に、牛乳及び酪農の知識普及の活動を実施予定	流通課	(主)12
	(3) 生産者と消費者の結び付きを深めた地産地消取組の支援	49	・地域における生産者や加工業者等で構成する組織づくりの支援 ・地産地消促進計画策定推進と地産地消の取組支援	・食のプロフェッショナルチームアドバイザーの派遣等により、産直施設等（重点産直5施設）の運営強化の取組や生産者、食品事業者との連携を支援した。 ・地産地消促進計画未策定の市町村（1か所）に対し、策定を働きかけを行い、計画策定となった。 ・「いわて地産地消給食実施事業所」（R4.12末現在で79事業所）及び「いわて地産地消弁当」（R4.12末現在で15個）の認定を実施するとともに、ホームページ等を活用し地産地消情報を発信した。 ・学校栄養教諭等に対する研修を実施するとともに（1回）、小学校における地産地消の取り組みの支援（2回）を行った。	新規 ・県内スーパー等と連携した地産地消運動の実施 ・産直と給食事業者等とのマッチング支援 継続 ・アドバイザー派遣等により、産直施設等の運営強化の取組や生産者、食品事業者の連携を支援 ・各市町村地産地消促進計画等の着実な実施支援。 ・「いわて地産地消給食実施事業所」及び「いわて地産地消弁当」の認定を実施するとともに、ホームページ等を活用し、地産地消情報を発信 ・学校栄養教諭等に対する研修を実施（2回程度）	流通課	(主)Ⅲ-1 (参)13、14

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方針性（予定）	担当課等	関連 指標
1 農林漁業体験などを通じた生産への理解の増進	(4)「食べよう！いわての美味しいお米。」運動の推進	50	ごはん食の普及啓発のための情報発信	<p>・HPやSNS等を活用した「ごはん食」の普及啓発に係る情報発信 【いわて純情米HP】 https://iwate-kome.jp/ 【「#岩手白米百景」Instagram】 https://www.instagram.com/iwateokomeofficial/ 【いわて純情米キャンペーンTwitter】 https://twitter.com/iwate_kingincp</p> <p>・タウン誌での県産米及び県産米粉活用店舗の特集記事の制作 （「岩手のお米が美味しいお店」acute12月号、1月号、盛岡全生活便利帳2023掲載、県内コンビニ120店舗に配架）</p> <p>・HPやSNS等を活用した水稻の生育状況や産地の風景などの情報発信 （Facebook：144回、いわて純情米HP：21回、Instagram：87回、Twitter：80回） 【「金色の風」Facebook】 https://www.facebook.com/iwateKonjikinoKaze 【「金色の風」Twitter】 https://twitter.com/konjiki_no_kaze 【「銀河のしずく」Facebook】 https://www.facebook.com/iwateGinganoShizuku 【「銀河のしずく」Twitter】 https://twitter.com/ginga_no_sizuku 【「いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会」Facebook】 https://www.facebook.com/iwatekomejp</p>	一部継続	県産米戦略室	(主)Ⅲ-1 (参)13、14

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方針性（予定）	担当課等	関連 指標
2 食文化 や食生活の 継承	（１）食の匠の 活動支援	51	食の匠の技の 次世代への継 承と岩手の食 の魅力の情報 発信強化	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県食の匠として6名を新規認定。（認定総数296） ・各地域において岩手県食の匠による食文化伝承会の開催を支援し、一般消費者や高校生等を対象とした伝承会を開催した。（12月末現在延べ15回） ・HP等を活用して情報を発信した。（12月末現在10回） ・岩手ならではの食文化（岩手県食の匠認定料理）を学ぶ機会を提供するため、郷土料理の調理方法等を紹介する動画を作成（7品）。 	継続 ・一般の方も対象に広く伝承活動を実施し、食の匠の後継者を確保・育成 ・岩手ならではの食文化（岩手県食の匠認定料理）を学ぶ機会を提供するため、郷土料理の調理方法等を紹介する動画を作成し、ホームページ等で情報発信	農業普及技 術課	(参) 15
	（２）食生活改 善推進員等の活 動支援	52	食生活改善ボ ランティア等 による健康的 な食習慣や食 文化等の普及 啓発活動への 支援	（再掲Ⅰ－３－（３）） ・各保健所を拠点とし、市町村におけるボランティ ア養成の支援や育成等を行った。	継続	健康国保課	
	（３）学校給食 への郷土料理の 活用	53	栄養教諭等を 対象とした研 修会におい て、郷土料理 活用推進	・栄養教諭新規任用研修において、学校給食に郷土料理を取入れた場合の教育的効果について取り上げた。（4/19、受講者1名）	継続	保健体育課	

施策	取組項目	No	取組内容	R4の取組	R5年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
2 食文化や食生活の継承	（４）環境に配慮した食生活の推進	54	3 R推進キャラクターエコロールを活用した普及啓発の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「もったいない・いわて☆食べきりキャンペーン」（R4.12～R5.1）及び「もったいない・いわて☆食べきり協力店」（173店舗登録（R4.12末現在））の取組を通じて、事業者と連携しながら食品ロス削減の推進に取り組んでいる。 ・上記の他、食品ロスの削減に向け、R3.12に策定した「岩手県食品ロス削減推進計画」に基づき、市町村や関係事業者と連携し、食品ロス削減に係る普及啓発活動を実施している。 ・食品ロス削減の普及啓発の一環として、「岩手県新ドギーバッグ（持ち帰り容器）アイデアコンテスト（募集期間：R4.10～12、審査結果公表：R5.1～2予定）」を開催し、特に飲食店で発生する食べ残しの削減を呼びかけた。 	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやSNS等を通じて3 Rの普及啓発を実施 ・「もったいない・いわて☆食べきりキャンペーン」及び「もったいない・いわて☆食べきり協力店」の取組を通じた、事業者と連携した食品ロス削減を推進 ・食品ロス削減をecoマナーの一つに位置付け、「いわて三ツ星ecoマナーアクション」を展開 <p>新規</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減関係団体等との意見交換による食品ロス削減施策の検討 	資源循環推進課	(参) 16
	（５）学校における食育の推進（再掲）	55	食育担当者等を対象とした研修会の開催	<p>（再掲 I-2-(1)）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会において、食に関する指導の実践事例の紹介等により、学校における食育の推進を支援した。 ・食育推進等研修会（オンライン開催）（オンデマンド配信期間：10/27～12/9、135名） 	継続	保健体育課	(参) 13、14
		56	学校における食育教材の活用促進	<p>（再掲 I-2-(1)）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭新規任用研修等において、食育教材を活用した指導方法の普及を図った。 ・栄養教諭新規任用研修（4/19、受講者1名） ・岩手県栄養教諭学校栄養職員研修会（6/22、受講者119名） ・食育推進等研修会（オンライン開催）（オンデマンド配信期間：10/27～12/9、135名） 	継続	保健体育課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
2 食文化や食生活の継承	(5) 学校における食育の推進（再掲）	57	食に関する指導の全体計画作成と食育担当者の設置	（再掲 I-2-(1)） ・研修会等において、食に関する指導の在り方や全体計画例の紹介等により、学校における食に関する指導の全体計画作成を支援した。 ・食育推進等研修会（オンライン開催） （オンデマンド配信期間：10/27～12/9、受講者135名）	継続	保健体育課	
		58	早寝早起き朝ごはん運動の推進	（再掲 I-2-(1)） ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進に係る文部科学大臣表彰制度を活用し普及啓発を行った。	継続	生涯学習文化財課	
		59	食に関わる教育活動への支援	（再掲 I-2-(1)） ・特色ある教育に対する補助事業を通じて、私立学校における食育の取組を支援した。	継続	学事振興課	
	(6) 「食べよう！いわての美味しいお米。」運動の推進（再掲）	60	ごはん食の普及啓発のための情報発信	（再掲 III-1-(4)）	継続	県産米戦略室	(主) III-1 (参) 13、14

IV 地域に根ざした食育の推進

施策	取組項目	No	取組内容	R4の取組	R5年度の方針性（予定）	担当課等	関連指標
1 食育推進運動の展開	(1) 食育月間等における食育の普及	61	食育月間、食育の日における食育の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・食育普及啓発キャラバンを新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえながら実施し、保育園に食育の普及啓発物品を提供しながら、食育の普及啓発を行った。 ・マスコミを活用した情報発信、食育関係機関への食育月間及び食育の日の取組についての周知等を行い、食育の普及を図った。 	継続	県民くらしの安全課	(主) IV-1 (参) 17、18
		62	食育推進県民大会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・11月20日に令和4年度岩手県食育推進県民大会を実施した。 会場：いわて県民情報交流センター「アイーナ」 内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 各種表彰式 <ul style="list-style-type: none"> ・食育貢献者、 ・図画・食育推進図画ポスターコンクール ・食育標語コンクール) (2) 食育ダンス（アトラクション） (3) 第16回食育推進全国大会inいわて 開催報告会 	継続・拡充 ・表彰式など基本的な内容は継続しつつ、開催場所や内容の変更を検討する	県民くらしの安全課	
		63	「いわて減塩・適塩の日」キャンペーンや健康づくり教室等を通じた食育の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・食品関連事業者や健康づくり関係団体とのコラボやマスメディアを活用しながら「いわて減塩・適塩の日」を中心バランスのとれた食事と減塩に関する啓発を強化した。 ・「健康的な食事推進マスター」との協働により、地域における食育の取組の充実進めた。 ・健康づくり関連事業や食品関連事業者とコラボし、テレビCMスポット放映による県民への情報提供を行った。 	継続 給食施設及びスーパーマーケット等との連携強化する計画	健康国保課	

施策	取組項目	No	取組内容	R4の取組	R5年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
1 食育推進運動の展開	(1) 食育月間等における食育の普及	64	「いわて家庭の日」における食育の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・「いわて家庭の日」は、青少年の健やかな成長のために家庭の果たす役割を認識し、家庭の大切さを呼びかけ、家族・親子のふれあいを深めるきっかけとする日として、（公社）岩手県青少年育成県民会議（以下、「県民会議」）が提唱する県民運動。この中で、「家族そろって食事をする事」や「早寝早起き朝ごはん」などを呼びかけた。 ・県民会議が毎月発行する「いわて家庭の日」のチラシを県民室に配架するとともに、県民会議のホームページや「まなびネットいわて」に公開。また、各市町村の青少年行政担当部局にもチラシを送付し、各種イベント・祭り等での配付や各自治体等への配付、掲示などを呼びかけた。 	継続	若者女性協働推進室	
		65	県産食材を活用した食育の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・「いわて短角牛学校給食の日」及び「いわて牛・いわて短角牛学校給食の日」に併せた小中学校での食育授業の実施を支援 ・「酪農出前教室」を実施した。（No.48再掲） 	継続 ・「いわて短角牛学校給食の日」及び「いわて牛・いわて短角牛学校給食の日」に併せ小中学校での食育授業の実施支援を行う ・「酪農出前教室」の実施（No.48再掲）	流通課	
		66	食育の普及・推進のキャンペーンの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・県内飲食店と連携した県産米の増量・大盛キャンペーンの実施 （ほっかほっか亭 県内39店舗、県外33店舗 11/1～11/30） ・「食べよう！いわての美味しいお米キャンペーン」の実施 （全国の米穀専門店約60店舗を対象に県産米を購入すると抽選で豪華景品をプレゼントするもの 2/1～2/28） 	継続	県産米戦略室	

施策	取組項目	No	取組内容	R4の取組	R5年度の方針性（予定）	担当課等	関連 指標
1 食育推進運動の展開	（1）食育月間等における食育の普及	67	イベント・フェア等での県産米PR	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント・フェア等での県産米PRによる食育の普及・推進 【「銀河のしずく」田植え行事】 （花巻市鍋倉 知事、生産者参加 5/18） 【「銀河のしずく」稲刈り行事】 （花巻市鍋倉 知事、生産者参加 9/14） 【首都圏トップセールスイベント（新CM発表会）】 （主催：全農いわて県本部 赤坂ガーデンシティ 知事出席 9/28） 【県内トップセールスイベント】 （主催：いわてのお米ブランドカ生産販売戦略推進協議会 イオンモール盛岡 知事出席 10/22） ・「ごはん食」の啓発を目的としたコンクール開催支援 【「ごはん・お米とわたし」作文・図画岩手県コンクール】 （応募数：作文172点、図画81点 計253点 県内50校参加） 	継続	県産米戦略室	
1 食育推進運動の展開	（2）食育を推進する基盤整備の支援	68	岩手県食育推進ネットワーク会議と関係機関との連携の仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・「いわて食育応援団」認証制度の活用と企業等との連携を実施。 令和4年度岩手県食育推進県民大会でパネル展示等に協力していただいた。 認証企業にリスコミ講師について協力していただいた（牛乳工場オンライン見学）。 	継続	県民くらしの安全課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方向性（予定）	担当課等	関連指標
1 食育推進運動の展開	（３）食育推進貢献者等の表彰の実施	69	食育推進活動に取り組んでいる個人又は団体の表彰の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・食育貢献者表彰の実施。 募集期間：6/1～9/7 ・11月20日の岩手県食育推進県民大会で表彰式を実施した。 	継続	県民くらしの安全課	(参) IV- 1
	（４）食育に関する広報活動の推進	70	食育推進ネットワーク会議構成団体と連携した食育に関するコンクールの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・食育推進図画・ポスターコンクール及び食育標語コンクールの実施。 テーマ「いただきます」 募集期間：6月～9月 ・11月20日の岩手県食育推進県民大会で表彰式を実施した。 	継続	県民くらしの安全課	(主) IV- 1 (参) 17
	（５）第16回食育推進全国大会in いわての開催	71	「第16回食育推進全国大会in いわて」のウェブ開催	<ul style="list-style-type: none"> 「第16回食育推進全国大会inいわて」開催を契機に作成した食育パンフレットを活用し食育の普及啓発を図った。 ・令和3年度に開催した「第16回食育推進全国大会inいわて」を振り返り、今後の食育に生かしていくため、令和4年度岩手県食育推進県民大会の中で全国大会の開催報告会を行った。 ・「第16回食育推進全国大会inいわて」を記念して作った食育ダンスを活用し、食育キャラバンを実施した。 	終了 <ul style="list-style-type: none"> ・なお、全国大会を契機に作成した食育パンフレット及び食育ダンスは今後も活用する。 	県民くらしの安全課	
	（６）企業における食育活動の推進	72	いわて食育応援団の加入促進等による食育活動の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・いわて食育応援団の取組について、令和4年度岩手県食育推進県民大会でパネル展示を行い、普及啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き第16回食育推進全国大会の参加団体等において食育応援団の加入を促し、食育計画等の普及啓発を行い、企業での食育活動の取組に繋げる。 	県民くらしの安全課	

施策	取組項目	No	取組内容	R 4 の取組	R 5 年度の方角性（予定）	担当課等	関連 指標
2 市町村 や地域にお ける食育の 推進	(1) 市町村等 における食育推 進の支援	73	市町村食育業 務担当職員研 修会の開催等 による市町村 食育推進計画 策定支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村食育業務担当職員研修会の開催等により、市町村の計画改定等を支援する。（2月21日開催予定） 【内容】 ・基調講演 「全国の自治体における食育活動の現状や最近の動向について」（仮） 講師：農林水産省東北農政局消費・安全部消費生活課 ・市町村の食育の取組について（軽米町） 	継続	県民くらし の安全課	(主) IV- 1 (参) 17
		74	子ども食堂等 への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所ネットワークいわてを通じ、子ども食堂等の子どもの居場所づくりに取り組む団体等を支援した。 	継続 ・子どもの居場所づくりの取組拡大を図るため、「子どもの居場所ネットワークいわて」を通じた開設・運営に関する支援を行う。	子ども子育て 支援室	(参) 19